

幸せ人口1000万

ウェルビーイング先進地域、富山を目指して



富山県成長戦略

幸せでありたい。これは、地域や世代を超えた人類共通の願いだと思います。
今『ウェルビーイング』と呼ばれ、世界中の注目を集めている考え方があります。
日本語にすると『自分らしく幸せに生きられること』。

GDPのような客観的な経済指標から、一人ひとりの主観的な幸福指標へと、
社会のものさしが変わってきているのです。富山には、豊かな自然や水、
おいしい食、安全な土地という『幸せの基盤』が揃っています。

未来は大都市からやってくる。富山は後から追いかける。
未来に対してそんなふうに思っていないですか。私はそうは思いません。
むしろ富山こそ、世界中が追い求めている『幸せの先進地域』になれると信じています。

「県内人口100万人」という考え方に縛られていてはもったいない。
そうではなく、幸せという大きな傘のもと「関係人口1000万人」を目指しましょう。
富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など
愛着を持って関わるすべての人が、富山の仲間です。

『幸せ人口1000万』これがビジョンです。
一緒に新しい合言葉にしていきましょう。富山で生きる人が
「ここに生まれてよかった」そう胸を張れる未来をつくる。
富山から世界が注目する新しい日本をつくっていきましょう。

富山県知事 新田八朗



とやまが目指す、新時代の成長戦略とは

(ウェルビーイング)

キーワードは、真の幸せ。



幸せの定義が変わりつつある現代、目標や価値観も変わらないと。

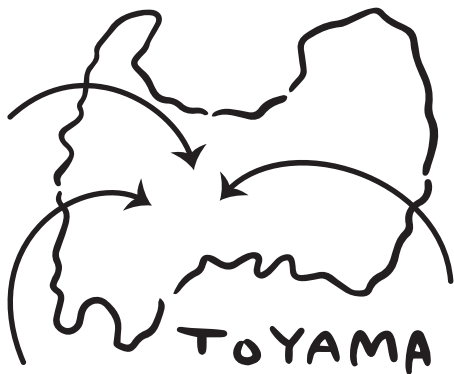
かつてのバブル時代のような、経済成長による物質的な幸せを実感することが難しい現代。だからこそお金に換算できない価値観が求められています。「真の幸せ」はいま、『ウェルビーイング』という言葉で呼ばれているのをご存知でしょうか。収入や健康といった外形的な価値に囚われず、自分らしく生きられる、そんな『ウェルビーイング』の向上を目指し、次世代の価値を産む人が育ち集まる富山となるため、新たな成長戦略に富山県は今後スピード感を持って取り組んでいきます。

※ウェルビーイング
(well-being)

世界保健機関 (WHO) 憲章の前文において、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態 (=well-being) にあること」と定義

成長戦略には、6つの柱があります。

① 真の幸せ(ウェルビーイング)



目標 県民と共に“しあわせ”が向上する地域づくりに取り組み、人が集い、人も暮らしも潤うウェルビーイング先進地域富山へ!

全国でも幸福度が高いと言われる富山県ですが、あなたは「今、幸せです!」と言えますか? 一人一人がもっと自分らしく生きられるようになれば、きっと幸せを感じる人がもっともって増えていくはず。

富山の“当たり前”は宝物

富山の豊かな日常を魅力に、多様な人材を惹きつけ共に成長を目指します。

女性が幸せ＝富山が成長

男性社会が変わり、女性を取り巻く環境の改善を目指します。

ドンドン行け、バンバン来い。

流出を恐れず、多様な人材が入り込む地域づくりに取り組みます。

② まちづくり



目標 地域が主役となってまちづくりを進める官民連携の組織を創出!

目標 富山の自然・風土×新しい文化で、持続可能なプロジェクトを創出!

ひとりひとりが自分らしくのびのびと活動できていると実感が持てるまちは、外から見ても居心地がよさそうに見えるし、うらやましく思える。そんな自由な風土を築き、引き寄せられた人々と共に富山の未来を創っていきましょう。

創造を栄養に、個性が育つ

クリエイティブな人たちを惹きつける個性的なまちを育てます。

既に“ある”を再編集しよう

ものまねでない「富山らしい」新たな価値を見出します。

安心安全はまちの基盤

感染症や自然災害など、万一の事態に対応できるまちを築きます。

③ ブランディング(広報・観光・移住)



目標 「富山＝ウェルビーイング」を確立する「〇〇といえば富山」の創出!

目標 世界に評価され人を惹きつける、ウェルビーイングを象徴する場を創出!

富山のありのままの日常こそ、一番の地域資源。私たちが日常と向き合い、暮らしの中の幸せを発信していく。小さな幸せのシェアが、富山のフォロワー・関係人口を増やす大きな波を起こしていくのでは…?

暮らすように旅する観光

人々とのふれあいから富山の暮らしを感じられる観光に取り組みます。

富山の「カッコイイ」をアピール

本物志向の人たちを呼び込むための上質なサービスづくりを支援します。

ポジティブな眼鏡で覗いてみよう

「富山には〇〇がある」を知ることから始めていきましょう。

富山県がこれからも力強く経済成長し、県民のウェルビーイング向上を実現していくには、幅広い分野から取り組みを考えることが必要です。そこで次の6つを“成長戦略の柱”に定め、目標実現に向けてみなさんと共にワンチームとなって実行していきます。

4 新産業支援

目標 デジタルの活用や世界的な潮流を見据えた取り組みにより、全国有数の付加価値率を実現!

目標 新たなサービスや市場などを生み出し、県民一人あたりの県内総生産を増加!



私たちの豊かな生活を持続可能とするには、やはり稼げる地域でなければなりません。地元企業の生産性や経営力を磨き上げ、多様な人材集めと育成に取り組めます。MADE IN TOYAMAを磨き、県外や国外からの消費を呼び込み、自立した経済圏を目指します。

突き抜けた人材を集めよう

多彩な人材を取り込み、企業に新たな活力を生み出します。

富山が潤う仕組みをつくらう

県外の消費を呼び込み自立した経済圏を目指します。

生産性向上=デジタル技術を活用

県内企業のDX化や高付加価値化を実現します。

だれもが学び続ける時代

クリエイティブ人材の育成や社会人の学び直しなどを進めます。

5 スタートアップ支援



目標 新たな上場企業1社または同等に地域に貢献する企業の複数創出!さらに大学発ベンチャー企業を10社以上設立!

富山発の代表的な企業も、はじめは数人から立ち上げたベンチャー企業でした。現在、次世代を担う新しいベンチャーがまだ育ってきていない状況です。みんなで固くなっている土を耕し、挑戦を応援する土壌を築いていきましょう。

出る杭を応援しよう

意欲ある人が挑戦しやすい環境をみんなで整えていきましょう。

もう、保守的とは言わせない!

チャレンジャーを支援するコミュニティ形成を進めます。

ピンチをチャンスに

「後継ぎベンチャー」などの新たなチャレンジを支援します。

6 県庁オープン化



目標 地域に出て活躍する“越境人材”の県庁職員を育成!

目標 “デジタルにより公共サービスが便利な自治体”全国トップ5を実現!

県庁って、なんとなく親しみが湧かないと感じていませんか?何か困った時に相談しやすい県庁でありたい。県民目線の行政情報の発信や、見える化を進めると共に、みなさんと共に富山の未来を考え、つくりあげていく仕掛けづくりを進めます。

さらば、堅苦しいイメージ

県民や地域との交流を促し、身近な県庁を実現します。

多彩な人材が集う県庁へ

職員の働き方改革を進め、若者・女性など多様な人材の活躍を目指します。

参加しやすい県庁へ

DX化と共に、わかりやすい情報発信で、県政への県民参加を推進します。

目標 は、成長戦略のKPI(成果指標)をわかりやすく表したものです。KPIの詳細については、富山県成長戦略特設サイトを参照してください。



富山県の成長戦略についてわかりやすく紹介しています。

富山県成長戦略特設サイト

www.seichosenryaku-toyama.com

富山県成長戦略についてのお問い合わせ

富山県知事政策局成長戦略室戦略企画課／TEL.076-444-8916 FAX.076-444-3473

